

結果の概要

～平成23年1月分～

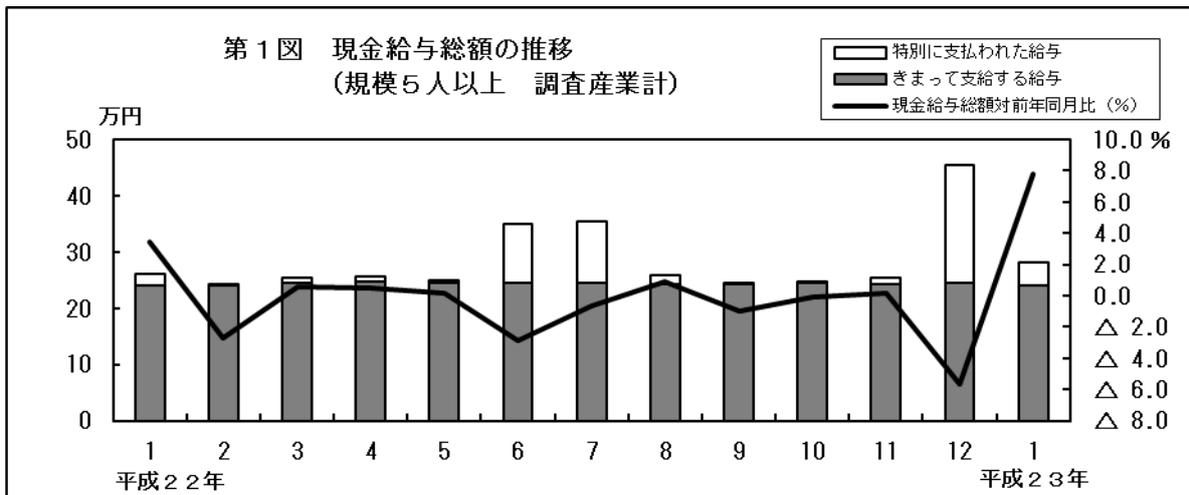
1 賃金の動き

1月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、280,733円となり、その指数は対前年同月比7.8%増（規模30人以上では、320,335円、12.7%増）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、240,428円、対前年同月比は0.1%増（規模30人以上では、261,146円、0.5%増）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、224,340円、対前年同月比は0.1%減（規模30人以上では、240,772円、0.1%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、382,187円（規模30人以上では、426,930円）、パートタイム労働者は、93,777円（規模30人以上では、104,552円）であった。（表20・21表）



2 労働時間の動き

1月分の調査産業計の月間総実労働時間は、131.5時間、対前年同月比は0.6%減（規模30人以上では、135.5時間、0.1%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、9.2時間、対前年同月比は2.3%増（規模30人以上では、10.8時間、増減なし）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、11.3時間、1.7%減（規模30人以上では、12.8時間、2.3%減）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、155.1時間（規模30人以上では、155.8時間）、パートタイム労働者は、88.0時間（規模30人以上では、94.4時間）であった。（表20・21表）

